

# AsyncOS アップグレードの基本手順と一般的なシナリオ

## 目次

[概要](#)

[要件](#)

[アップグレードの準備](#)

[アップグレードのダウンロードとインストール](#)

[CLI でのアップグレード](#)

[GUI でのアップグレード](#)

[クラスタ アップグレード](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco E メール セキュリティ アプライアンス ( ESA ) の AsyncOS のアップグレード プロセスに関する追加の情報と手順について説明します。

## 要件

- [System Status] の出力でアプライアンスの RAID ステータスが READY または OPTIMAL であることを確認してください。RAID ステータスが DEGRADED のアプライアンスでは、アップグレードを開始しないでください。アプライアンスの RMA ケースを開始するには、[Cisco TAC](#) までお問い合わせください。
- ESA がスタンドアロン アプライアンスとクラスタ環境内のどちらであるかを検証します。クラスタ環境の場合は、このドキュメントの「クラスタ アップグレード」を適宜参照してください。
- ESA のポート 80 および 443 からのインターネット接続をパケット検査なしで確保してください。
- 動作可能な DNS サーバが必要です。
- アップグレードの前に、ESA および SMA システムの互換性を確認してください。

AsyncOS for Email Security の古いバージョンでは、最新バージョンに達するまでに複数のアップグレードが必要になる場合があります。アップグレード パスの確認とアプライアンスのプロビジョニングについては、[Cisco TAC](#) までお問い合わせください。

## アップグレードの準備

1. XML 設定ファイルをオフボックスで保存します。このファイルは、何らかの理由でアップグレード前のリリースに戻す必要がある場合に必要になります。
2. セーフリスト/ブロックリスト機能を使用している場合は、そのリストをオフボックスでエクスポートします。
3. すべてのリスナーを一時停止します。CLI からアップグレードを実行する場合は、**suspendlistener** コマンドを使用します。GUI からアップグレードを実行する場合は、リスナーは自動的に一時停止します。
4. キューが空になるまで待ちます。CLI の **workqueue** コマンドでワーク作業キュー内のメッセージ数を表示するか、**rate** コマンドでアプライアンスのメッセージ スループットをモニタすることができます。
5. Cisco が推奨する場合は、レポートを無効にします。レポートの無効化は、アプライアンスの CLI からのみ実行できます。

```
> diagnostic
```

```
Choose the operation you want to perform:
```

- RAID - Disk Verify Utility.
- DISK\_USAGE - Check Disk Usage.
- NETWORK - Network Utilities.
- REPORTING - Reporting Utilities.
- TRACKING - Tracking Utilities.
- RELOAD - Reset configuration to the initial manufacturer values.

```
[> reporting
```

```
The reporting system is currently enabled.
```

```
Choose the operation you want to perform:
```

- DELETEDDB - Reinitialize the reporting database.
- DISABLE - Disable the reporting system.

```
[> disable
```

```
Disabling reporting.....The reporting system is currently disabled.
```

## アップグレードのダウンロードとインストール

AsyncOS for Email Security バージョン 8.0 では、アップグレード オプションが更新され、**DOWNLOAD** の他に **DOWNLOADINSTALL** が追加されました。これにより、管理者は 1 回の操作でダウンロードとインストールを行うか、バックグラウンドでダウンロードして後でインストールするかを柔軟に選択できます。

```
C370.lab> upgrade
```

```
Choose the operation you want to perform:
```

- DOWNLOADINSTALL - Downloads and installs the upgrade image (needs reboot).
- DOWNLOAD - Downloads the upgrade image.

```
[> download
```

```
Upgrades available.
```

1. AsyncOS 9.5.0 build 035 upgrade For Email, 2015-04-04
2. AsyncOS 9.5.0 build 067 upgrade For Email, 2015-04-22
3. AsyncOS 9.5.0 build 201 upgrade For Email, 2015-05-26 This release is for Limited Deployment
4. AsyncOS 9.6.0 build 042 upgrade For Email, 2015-07-15 this release is for General Deployment
5. cisco-sa-20150625-ironport SSH Keys Vulnerability Fix

```
[5]>
```

詳細については、[ユーザガイド](#)を参照してください。

## CLIでのアップグレード

1. `upgrade` コマンドを実行します。
2. オプションとして `DOWNLOADINSTALL` または `DOWNLOAD` を選択します。
3. 必要なアップグレードバージョンに対応する番号を選択します。
4. 現在の設定を保存するのに必要な質問に回答し、アップグレード適用時の再起動を承認します。
5. アップグレード後、CLI にログインし、`resume` を実行し、リスナーを再開して確実に動作するようにします。
6. 以前にレポートを無効にした場合は、`diagnostic > reporting > enable` コマンドを実行して、この時点でレポートを確実に有効にします。

## GUIでのアップグレード

1. [System Administration] > [System Upgrade]
2. [Upgrade Options...] をクリックします。
3. オプションとして [Download and install] または [Download] を選択します。
4. 必要なアップグレードバージョンをクリックして強調表示します。
5. [Upgrade Preparation] で適切なオプションを選択します。
6. [Proceed] を選択してアップグレードを開始します。モニタリング用の経過表示バーが表示されます。
7. アップグレード後、CLI にログインし、`resume` を実行しリスナーを再開して確実に動作するようにします。 [System Administration] > [Shutdown/Suspend] > [Resume (Check All)]
8. [Mail Operations] セクションで、[Commit] を選択します。
9. 以前にレポートを無効にした場合は、CLI に戻って `diagnostic > reporting > enable` コマンドを実行して、この時点でレポートを確実に有効にします。

## クラスタ アップグレード

クラスタ内の ESA では、CLI または GUI から上記と同じアップグレードプロセスを実行しますが、1つだけ異なる点として、クラスタからデバイスを切断するように求めるプロンプトが表示されます。 CLI の表示例：

```
(Cluster my_cluster)> upgrade
```

```
This command is restricted to run in machine mode of the machine you are logged in to.  
Do you want to switch to "Machine applianceA.local" mode? [Y]> y
```

GUI の表示例：

## Warning!



Some of the machines in the cluster are currently connected. The upgrade process will automatically disconnect all machines from the cluster. You will need to manually reconnect all machines to the cluster after all machines in the cluster have been upgraded. Please refer to the manual before proceeding.

Cancel

OK

注: これは、管理用のみの切断です。これによって、クラスタレベルの同期のみがアプライアンスで停止します。アプライアンス設定の削除や変更は行われません。

クラスタ アップグレードに関する推奨事項は次のとおりです。

- すべてのアプライアンスが同じバージョンにアップグレードされるまで、ESA をクラスタレベルで再接続しないでください。
- 必要に応じて、1つの ESA のアップグレードが完了したら、リスナーを再開して（以前に中断した場合）、ESA がスタンドアロン アプライアンスとして機能できるようにします。
- ESA がクラスタから切断されているときは、設定の変更や修正をしないでください。これにより、アップグレード後にクラスタレベルで再接続したときに、設定の不整合が回避されます。
- すべてのアプライアンスが同じバージョンにアップグレードされたら、アプライアンスをクラスタレベルで再接続し設定の同期を許可してクラスタ操作を再開します。

## トラブルシューティング

ネットワーク中断のためにアップグレードが失敗すると、アップグレード プロセスの出力に次のようなエラーが表示されることがあります。

```
Reinstalling AsyncOS... 66% 01:05ETA.  
/usr/local/share/doc/jpeg/libjpeg.doc: Premature end of gzip compressed data&colon;  
Input/output error  
tar: Error exit delayed from previous errors.  
Upgrade failure.
```

これは通常、ESA と更新サーバの間でデータを送信中に発生したネットワーク中断が原因です。ネットワーク ファイアウォールのログを確認するか、または ESA から更新サーバへのパケットトラフィックをモニタしてください。

必要に応じて、「[ESA のパケット キャプチャ手順](#)」を参考にして、ESA のパケット キャプチャを有効にし、アップグレード プロセスを再試行してください。

注: 特にアップグレード プロセスでは、アイドル接続がアクティブな状態を維持できるようにファイアウォールを設定する必要があります。

静的なアップグレード サーバを必要とする厳密なネットワーク ファイアウォールについては、「

[スタティック サーバによるコンテンツ セキュリティ アプライアンスのアップグレードまたは更新](#)」に記載された静的な更新およびアップグレード サーバのセットアップ方法を参照してください。

ハードウェア アプライアンスの場合は、次のダイナミック サーバへの接続をテストします。

- telnet update-manifests.ironport.com:443
- telnet updates.ironport.com:80
- telnet downloads.ironport.com:80

仮想アプライアンスの場合は、次のダイナミック サーバを使用する必要があります。

- telnet update-manifests.sco.cisco.com:443
- telnet updates.ironport.com:80
- telnet downloads.ironport.com:80

ファイアウォールの詳細な情報とポート要件については、[ユーザ ガイド](#)を参照してください。

## 関連情報

- [Cisco コンテンツ セキュリティ管理アプライアンスの互換性マトリクス](#)
- [ESA のアップグレード手順](#)
- [ESA パケット キャプチャ手順](#)
- [静的サーバによるコンテンツ セキュリティ アプライアンスのアップグレードまたは更新](#)